

えりもしゃくなげ



発行者 教育長 川上松美 (代)01466-2-2525

○平成23年3月11日の東日本大震災。津波が押し寄せた映像は、今も記憶に残っていることと思います。

○大地震や津波は、えりも町でもいつ来るかわかりません。そのための心構えや訓練が何よりも大切です。

○そこで、えりも町内の学校では、北海道の事業に合わせて5校全ての小学校で、先生方が指導案を作成して児童が災害について考え、体験を通し学びました。指導に当たる先生方の積極的な姿勢の甲斐あって児童もしっかり学びました。先生方に感謝です。

資質・能力の自律性を育む



シェイクアウト避難の合図で、体育館に素早く集まったえりも小の全校児童

未来えりも学 防災教育
自治会も参加『一日防災地域学校』
えり小の先生が一生懸命、指導案を作成し、
積極的に取り組む姿に感謝
その甲斐あって児童も真剣に学んでいた

資質・能力の創造性を育む



高性能救助車について、北海道警察署の方から興味深く聞き入る児童

資質・能力の協働性を育む



総合学習で日赤看護大学の根本先生が講師、自治会の方も加わり避難所運営を学ぶ3・4年生

資質・能力の自律性を育む



道徳で題材「命をいとおしんで」を読んで、生命の尊さについて考える6年生

資質・能力の情報活用力を育む



家庭科で災害食づくり、ハイゼックスを使い「蒸しパンづくり」を体験する5年生

全国体力・運動能力等調査結果で
多くの項目で全国上回る

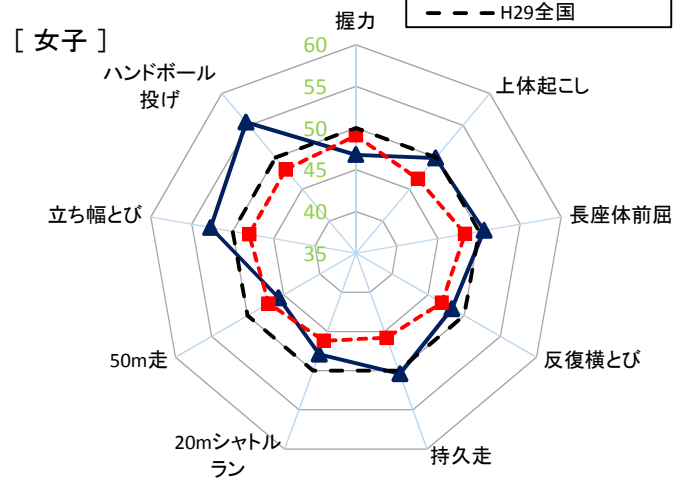
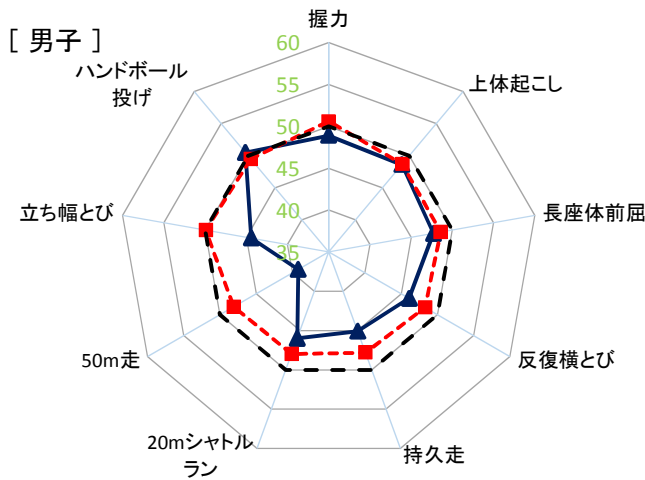
- 小学校では、8種目中、男子6種目・女子5種目で全国を上回りました。
- 中学校では、9種目中、男子1種目・女子4種目で全国を上回りました。
- 全ての学校が、体育や保健体育の授業で、児童同士が話し合う活動や、生徒が学習したことを振り返る活動を積極的に取り入れるなど、授業改善を推進していることが成果となっています。裏面に詳細を報告します。

平成29年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査におけるえりも町中学校の状況

■ えりも町内中学校の状況及び体力向上策(学校数:1校、生徒数:40名)

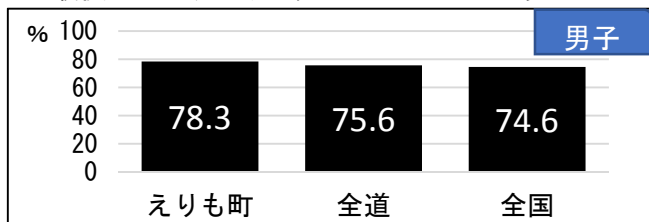
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示



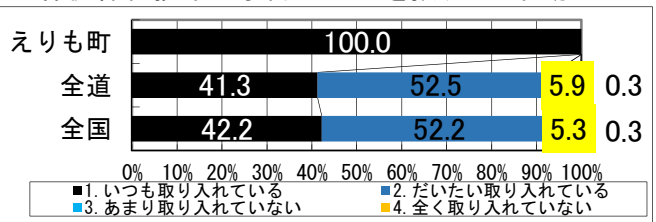
【生徒質問紙調査】

Q30.最後までやり遂げてうれしかったことがある



【学校質問紙調査】

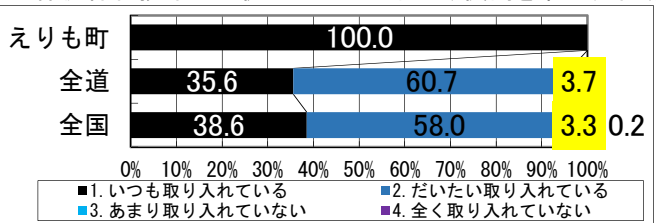
Q7.保健体育授業で学習したことを振り返る活動



Q19.保健体育授業の目標が示されている



Q8.保健体育授業で生徒同士が助け合い、役割を果たす活動



【分析】

実技	男子は「ハンドボール投げ」の1種目で、全国を上回った。 女子は「長座体前屈」「持久走」「立ち幅とび」「ハンドボール投げ」の4種目で、全国を上回った。	学校が、保健体育授業で学習したことを振り返る活動や生徒同士が助け合い、役割を果たす活動を積極的に取り入れるなど、授業改善を推進したことにより、男子は1種目で、女子は4種目で、全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	男子は「最後までやり遂げてうれしかったことがある」と回答した生徒の割合が全国を上回った。 女子は「保健体育授業の目標が示されている」と回答した生徒の割合が全国を上回った。	
学校質問紙	学校は、保健体育授業で学習したことを振り返る活動や生徒同士が助け合い、役割を果たす活動を積極的に取り入れた。	

【えりも町の体力向上策】

- ◎ 「体力向上プラン」による「1校1実践」の取組
- ◎ 新体カテストの全学年全学年実施による体力向上に係る検証改善サイクルの確立
- ◎ 町民スポーツ教室の実施及びスポーツ・運動に関する情報発信
- ◎ 町民マラソン大会への参加促進